

キャリア教育新聞

No.10

2025年11月
発行

共創共学

プラットフォーム
(塩尻市教育委員会委託事業)

受け皿となる社会について
(OECD比較)

日本は働くことを通じて幸せを感じている人も不幸を感じている人も少ない（幸せ49.1%【74.7%】不幸せ18.4%【28.7%】【平均】）
この理由としては、日本の就業者の「寛容性」は18カ国・地域の中でも番目に低く異質な他者と積極的に関わろうとしない傾向が顕著にみられたためである。このことから、子ども達から見て大人が幸せそうに働いているように見えない可能性が大きい。

赤井氏講演要旨【現状把握編2】

11月15日（土）に桔梗小学校において、桔梗小学校による「キッズお仕事チャレンジ」が開催された。コミュニティ・スクール内に立ち上げた実行委員会による本活動は今回で9回目を迎える。平成29年度に第1回目を開催し、口口ナ禍でも実施形式を柔軟に変更しながら継続するなど、毎年アップデートを続けている活動である。

今年度は建設・福祉・飲食・製造・輸送・美容・販売などの事業所や消防署・自衛隊・市役所など計16のお仕事体験講座が準備され、参加した児童計100名がコースに分かれて一人つの講座を受講した。コースは低学年コースと高学年コースをに分かれており、参加児童が多い低学年は5つのコースに分けるなど参加者の二つに応じた工夫がされていた。1講座45分間で行われ、児童は仕事について説明を聞いたり、質問をしたり、実際に体験をしたりした。

本活動は「第15回キャリア教育 優良教育委員会、学校及びPTA団体等 文部科学大臣表彰」を受賞している。子どもたちが地域の大人から仕事の魅力を楽しく学ぶように毎年企画されている。実行委員が中心となって企画され、講座の講師や当日の運営ボランティア、PTA、学校の教職員など多く関係者が協働し、共創している。



飯田直希さん
(低学年向け「きこりさん」講師)

今回は、お仕事をメインで話をしましたが、機会があれば、山や森についてもっと多くの子どもに話を聞いていければと思います。自分の話が、参加してくれた子どもたちの、誰かの将来に少しでも影響を与えていられればうれしいです。」



▲低学年「きこりさん」(塩尻市役所耕地林務課 飯田直希さん)

- ◆お問い合わせ
- ・学校名・担当者・学年
- ・相談内容・授業の想定時期
- ・どんなことを学んでほしいか
- ・連絡先・その他

- ・相談は約3か月前までに頂けると余裕をもって支援や、協力者集めが可能となります。

※ささいなご相談にも、可能な限り対応しますのでお気軽にご相談ください。

授業づくりのお手伝い、ご相談ください

今年度も、企業見学、職場体験、対話的プログラムや探究学習（総合的な学習の時間）など、先生方とともにキャリア教育の授業づくりのお手伝いをさせて頂きました。来年度に向けて、学校や生徒のみなさんの様子に合わせた授業づくりを一緒に考えさせて頂ければと思います。お気軽にご相談ください。



<https://forms.gle/H7MH7Nnu2WiUHL3jg>